

素直な思いを届けたい

「わたしの主張」北岩手地区大会

「わたしの主張」北岩手地区大会は9月3日、安代中体育館で開かれ、八幡平、岩手、葛巻の3市町の中学10校からそれぞれ代表者が出場し、熱弁を振っていました。

発表者は5分の発表時間を余すことなく、堂々としたしぐさで自らの気持ちを素直に表現。安代中の生徒は、その熱い発表に聞き入りました。

最優秀賞に選ばれたのは「ボランティアってめんどくさい!？」と題して発表した沼宮内中3年の三浦巴那さん。平成30年の西日本豪雨災害の際に同校が行った募金活動をきっかけにボランティアに対する意識が変わり、生徒会執行部となった現在は先頭に立って「ちょっぴりボランティア」を実践。「たとえ小さなボランティアでも必ず大きな笑顔につながることを信じている」と訴えました。

本市では安代中3年の齋藤愛華さんが優秀賞を受賞しました。「心を開いて」と題し、言葉が通じない異国での不安な心情を表現。心を開いて、違いを楽しみ、認め合う大切さを呼び掛けました。

その他、市内の入賞者と演題は次の通りです。▶
優良賞 松村楓蓮さん(西根中3年)・「たくさんの笑顔届けたい」、古川真愛さん(松尾中3年)・「私の軸となる大切なパーツ」

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1203



日頃抱えている思いや考えを伝えた発表者の皆さん



受賞報告のため市役所を訪れた立花支部長(右)

きれいなまちを作ろード

道路愛護団体等に対する大臣表彰を受賞

道路愛護団体等に対する国土交通大臣感謝状伝達式は8月27日、サンセール盛岡で行われ、市公衆衛生組合連合会松尾支部が表彰されました。

昭和44年から長きにわたって取り組んできた路面や側溝の清掃、不法投棄パトロールや啓発活動が評価されての受賞となりました。同支部長の立花國彦さんは「先輩方がやってきた活動の積み重ねが認められてうれしい。今後も道路の環境悪化を未然に防ぐように努めていきたい」と気を引き締めました。



短期間で集中的にプログラミングを学ぶスパルタキャンプSwift編(9月12日、友好都市交流促進センター)



八幡平スマートファームの熱水ハウスでバジルの摘み取り体験をする生徒(9月10日、平館高校地熱探検隊)



5月に種まきしたスイートコーンを収穫する東慈寺保育園の園児(8月26日、サラダファーム食育体験)



真剣な表情で花の段数などを見ながら選別する児童

地域の特産品に触れる

田山小が校外学習でリンドウ栽培を学ぶ

田山小の校外学習「リンドウ学習」は8月26日、地元農家で行われ、3、4年の児童9人がリンドウ栽培への理解を深めました。

指導をしたのは栽培農家の齊藤正樹さんら4人。児童はリンドウの種類や特徴などの説明を受けた後、ほ場での収穫から出荷に向けた箱詰めまでの一連の作業を体験しました。3年生の安部皇河君は「採ってもいいリンドウかどうかを選ぶのが難しかった」と笑みを浮かべました。

高パフォーマンス支える

パラバイアスロン強化拠点機能強化事業

パラリンピックバイアスロン強化拠点機能強化事業の一つであるスポーツ医による講義が8月25日、新安比温泉静流閣で行われました。

合宿中の出来島桃子、阿部友里香の両選手らが参加。スポーツ医の認定を受けている佐藤整形外科クリニック(岩手町)の佐藤正義院長を講師に迎え、けがの種類や対処法などを学びました。

本事業では、これまで栄養指導などを実施。令和4年の北京パラリンピックまで選手をサポートします。



講義を受ける(右から)出来島選手、阿部選手、小館操コーチ



参加チームの団旗と共に選手宣誓をする伊藤選手

秋風涼しくも試合白熱

西根ライオンズカップ争奪少年サッカー大会

第35回西根ライオンズカップ争奪少年サッカー大会は9月21、22の両日、安比高原スポーツパーク(A S P A)で開かれ、参加選手が声援の飛び交うグラウンドを優勝目指して駆け回りました。

リーグ戦で争われる今大会は、市内や盛岡市、滝沢市、久慈市、北上市、葛巻町から合わせて8チームが参加。地元アレグレイゴ八幡平主将の伊藤練君(平館小6年)は「新型コロナウイルスに負けず、最後まで正々堂々と戦います」と熱戦を誓いました。

視野を広げる大事な学習

平館小で高齢者体験

(福)市社会福祉協議会は9月3日、高齢者の気持ちや日常生活の中の苦労を知ってもらおうと平館小で高齢者体験を開きました。

6年生17人がヘッドホンや特殊眼鏡、手足の重りなどの疑似体験装具を装着し、買い物などの日常生活動作を体験。加齢による身体的変化や高齢者とのコミュニケーションの取り方を学びました。工藤優武君は「お金をつまむのが難しかった。うちのおじいさん、おばあさんにもっと優しくしたい」とはにかみました。



買うものが書かれた紙に手に商品を探します



温泉郷の玄関口に新たな顔が誕生しました

名水生かす無農薬ビール

暁ブルワリー八幡平ファクトリー醸造棟竣工式

(株)太極舎(岡部いずみ社長)は9月7日、旧八幡平トラウトガーデンを改装して建てた暁ブルワリー八幡平ファクトリーの醸造棟竣工式を行いました。

金沢清水を使って造るビールは、通常行う水質調整はせず、天然水の持つ風味を生かしたこの土地ならではの爽やかな味わい。年間最大生産量は240^{キログラム}で、初年度の目標生産量を100^{キログラム}とし、10月下旬に「ドラゴンアイ」の名称で商品化する予定です。

豊かな緑を未来へ残す

県民の森で自然ボランティア体験

(公社)県緑化推進委員会は8月29日、岩手の豊かな自然を後世に引き継ぐ目的で、県民の森を会場にボランティアによる森林整備作業を行いました。

作業には、市内外から団体や個人137人が参加。班ごとに分かれ、散策しやすいように鎌で雑草の下刈りをしました。

盛岡市から家族5人で参加した千葉章浩さんは「自然を通じて子供たちにボランティア活動の大切さを体験してもらいたい」と流れる汗を拭きました。



周りの人にも注意しながら長柄の鎌を振る参加者

すなっぶギャラリー



黒倉山を舞台に県内13校76人が健脚を競う(9月21、22の両日、第56回県高等学校新人登山大会)



上村地区資源保全会が景観整備でヒマワリの迷路を作り、松野保育所園児を招待(8月19日、野駄地内)



8月9日にアルパカのアルくんとモカちゃんの子ども『モモ』が誕生(8月13日、サラダファーム)



市芸術文化協会・市婦人会連絡協議会が文化交流拠点の整備に関する要望書を提出(8月26日、市役所)



第2回八幡平CUPタグラグビー大会を開催。16チーム約110人が参加(8月23日、市ラグビー場)